

年	月日	沖縄県小児保健協会のあゆみ	当県における小児保健	わが国における小児保健のうごき
1973年 (昭和48年)	2.20	第1回発起人会	発起人 稲福盛輝 山本達人 知念正雄	4月 乳幼児健診の公費負担制度、妊婦乳児健診の所得制限撤廃
	3.17	第2回発起人会		
	5.9	第1回幹事会		
	5.26	第2回幹事会		
	6.21	第3回幹事会		
	6.27	第4回幹事会	公費による乳児妊婦一般健康診査開始 小児慢性腎炎、ネフローゼ、喘息等の医療援護事業 妊娠中毒症等療養援護事業 (徳島市・宮尾益英会頭)	
	7.12	第5回幹事会		
		沖縄県小児保健協会を発足させることに決定し、会員を募ることになった。		
		事務局：沖縄県厚生部予防課に置く		
	7.28	沖縄県小児保健協会設立総会並びに学会一般演題 5題 記念特別講演 「生活環境の変化における小児保健について」 東京大学教授：船川 幡 夫 教育講演 於：若松ホール 「新生児の見方」 北里大学教授：島田 信 宏 教育講演 於：若松ホール 「予防接種の実際と問題点」 東京大学教授：平山 宗 宏 小児慢性疾患実態調査(9～10月) 沖縄県公衆衛生学会に一般演題出題 沖縄県と乳児一般健康診査の委託契約を締結 第一回乳児一般健康診査を東風平村にて実施		
			初代会長 仲地吉雄 理事 竹中静広、平山清武 稲福盛輝、小渡有明 知念正雄、山本達人 渡口真清、川平昌眺 真玉橋ノブ、宮良文 藤田虎男、仲里幸子 宮城英雅、伊敷和枝 会 員 209名 賛助会員 1社 会 費 500円	11月 昭和48年度臨時総会

年	月 日	沖縄県小児保健協会のあゆみ	当県における小児保健	わが国における小児保健のうごき
1974年 (昭和49年)	3	<p>昭和48年度乳児一般健康診査実績 実施市町村 24 受診数 5,786名 要精査数 322名</p> <p>「沖縄の小児保健」創刊号発行 48都道府県、関係機関、53市町村、会員へ発送 沖縄県小児保健協会シンボルマーク設定 (琉球大学 安次富長昭によるデザイン)</p>		1月 大腿四頭筋短縮症 出る
	5 . 18	<p>第2回総会, 学会 於: ゆうな荘 一般演題 9題 特別演題 「乳幼児健診の実際と方向」 東京大学教授: 平山 宗 宏</p>	<p>二代会長 稲福盛輝 理事 竹中静広, 平山清武 小渡有明, 山本達人</p>	4月 人口問題審議会が 出生抑制への呼びかけ ※小児慢性特定疾患治療 研究事業の創設
	7 . 11	<p>宮古地区乳幼児健康診査実施 (7月11日～7月17日)</p>	<p>原 實, 佐久本政彦 西平弘子, 知念正雄 渡口真清, 宮城英雅 仲里幸子, 真部智恵子 宮良 文, 伊敷和枝</p>	11月 東京都小児保健協 会設立総会
	7 . 9 . 10	<p>事務局職員1名おく 八重山地区乳幼児健康診査実施 (9月10日～9月14日)</p>	<p>会 員 199名 賛助会員 2社</p>	11月 第21回日本小児保 健学会並びに総会 (東京都国分義行会頭)
		<p>日本小児保健学会一般演題出題 (東京) 「沖縄県乳幼児健康診査実績」第1報 (沖縄 県小児保健協会) 大腿四頭筋拘縮症の診断基準 パンフレット発行 小児保健研究奨励金制度設定 第1回研究奨励金 (11題)</p>		

年	月日	沖縄県小児保健協会のあゆみ	当県における小児保健	わが国における小児保健のうごき	
1975年 (昭和50年)	4.26	<p>昭和49年度乳児一般健康診査実績 実施市町村 40 受診数 13,311名 要精査数 555名</p> <p>第3回総会・学会 於：若松ホール 一般演題 9題 特別講演 「新生児の母乳栄養」 国立岡山病院小児科部長：山内逸郎 リウマチ熱の診断および内科的治療基準発行 シリーズ「赤ちゃんの健康」沖縄タイムス(夕刊) 32回掲載(9月2日～10月29日) 日本小児保健学会へ一般演題出題(弘前) 「沖縄県乳幼児健康診査成績」第2報(沖縄県小児保健協会) 沖縄県公衆衛生学会へ出題 「沖縄における母乳栄養について」 名護保健所管内離島健康診査始まる(伊江村) 昭和50年度乳児一般健康診査実績 実施市町村 42 受診数 15,109名 要精査数 721名</p>	<p>二代会長 稲福盛輝 理事 竹中静広, 平山清武 小渡有明, 山本達人 原 實, 佐久本政彦 西平弘子, 知念正雄 渡口真清, 宮城英雅 大嶺経勝, 仲里幸子 真部智恵子, 宮良文 伊敷和枝 会員 215名</p>	<p>7月 風疹が流行</p> <p>11月 第22回日本小児保健学会並びに総会(弘前市, 泉幸雄会頭)</p> <p>12月 定期種痘, 初種痘年の引上げ, 弱毒ワクチンに切替え</p>	
1976年 (昭和51年)	3.	<p>シリーズ「赤ちゃんの健康」沖縄タイムス掲載の収録集発行 「沖縄の小児保健」第2・3号発行</p>		<p>2月 妊婦乳児等保健相談事業の創設</p>	

年	月日	沖繩県小児保健協会のあゆみ	当県における小児保健	わが国における小児保健のうごき	
1977年 (昭和52年)	4	<p>研究奨励金決定 14題</p> <p>第4回総会・学会 於：若松ホール</p> <p>一般演題 13題</p> <p>特別講演</p> <p>「母と子の精神衛生」</p> <p>淑徳短期大学教授：高橋 種 昭</p> <p>規約一部改正</p> <p>役員任期1年→2年</p> <p>日本小児保健学会（長崎）</p> <p>シンポジウム「離島における小児保健と対策」</p> <p>シンポジスト：安富祖 和 江</p> <p>那覇保健所管内離島乳幼児健康診査始まる（久米島地区）</p> <p>昭和51年度乳児一般健康診査実績</p> <p>実施市町村 47 受診数 17,313名</p> <p>要精密検査数 741名</p>	<p>三代会長 佐久本政彦</p> <p>理事</p> <p>原 實，平山清武</p> <p>小渡有明，稲福盛輝</p> <p>知念正雄，仲里幸子</p> <p>宮城英雅，渡口真清</p> <p>竹中静広，池宮喜春</p> <p>仲地吉雄，山本達人</p> <p>伊敷和枝，高江洲郁子</p> <p>島仲花枝</p> <p>会員数 217名</p>	<p>4月 発育委員会発足</p> <p>6月 静岡県小児保健協会発足</p> <p>9月 小児医療委員会発足</p> <p>足，予防接種委員会発足</p> <p>10月 第23回日本小児保健学会並びに総会（長崎市，浅野清治会頭）</p>	<p>4月 発育委員会発足</p> <p>6月 静岡県小児保健協会発足</p> <p>9月 小児医療委員会発足</p> <p>足，予防接種委員会発足</p> <p>10月 第23回日本小児保健学会並びに総会（長崎市，浅野清治会頭）</p>
	3	<p>「沖繩の小児保健」第4号の発行</p> <p>研究奨励金決定 14題</p> <p>第5回総会，学会 於：若松ホール</p> <p>一般演題 8題</p> <p>特別講演</p> <p>「子どもの事故について」</p> <p>東京大学教育学部教授：大場 義 夫</p> <p>教育講演 宮古・八重山地区</p>	<p>三代会長 佐久本政彦</p> <p>理事</p> <p>原 實，平山清武</p> <p>小渡有明，稲福盛輝</p> <p>知念正雄，仲里幸子</p> <p>宮城英雅，渡口真清</p> <p>竹中静広，池宮喜春</p> <p>仲地吉雄，山本達人</p> <p>許田英子，金城妙子</p> <p>古謝フミ子</p> <p>会員数 241名</p>	<p>3月 千葉県小児保健協会設立</p> <p>4月 1歳6カ月児健診始まる</p> <p>4月 先天性代謝異常検査実施</p> <p>※市町村保健事業のメニュー化</p>	<p>3月 千葉県小児保健協会設立</p> <p>4月 1歳6カ月児健診始まる</p> <p>4月 先天性代謝異常検査実施</p> <p>※市町村保健事業のメニュー化</p>
	7				

年	月 日	沖繩県小児保健協会のあゆみ	当県における小児保健	わが国における小児保健のうごき
1978年 (昭和53年)	10 .	日本小児保健協会支部長(佐久本)評議員会出席 (知念)(横浜) 昭和52年度乳児一般健康診査実績 実施市町村 43 受診数 19,911名 要精密検査数 836名		10月 京都府小児保健研究会設立総会
	2 .	教育講演開催 (共催) 沖縄県母性保健協会 「育児の原点」	1歳6ヶ月児健康診査事業実施	10月 第24回日本小児保健学会並びに総会 (横浜市, 入江英博会頭)
	3 .	鹿児島大学医学部教授 寺 脇 保 「沖縄の小児保健」第5号発行		
	4 .	研究奨励金決定 15題 第6回総会, 学会 於: 自治会館 一般演題 8題 特別講演 「小児保健ごとに幼児期の諸問題」 日本小児保健協会長: 村 上 勝 美 教育講演 宮古・八重山地区 日本小児保健協会支部長(仲地)評議員会(知念) 出席(米子)	四代会長 仲地吉雄 理事 原 實, 宮城英雅 佐久本政彦, 稲福盛輝 田中 洋, 安次嶺馨 仲里幸子, 宮城シゲ 山本達人, 知念正雄 平山清武, 小渡有明 渡口真清, 竹中静広 池宮喜春, 許田英子 前田洋子, 古謝フミ子	10月 第25回日本小児保健学会並びに総会 (米子市, 堀田正之会頭)
	7 .			
	10 .	昭和53年度乳児一般健康診査実績 実施市町村 44 受診数 20,208名 要精密検査数 810名		
	3 .	研究奨励金決定 11題 「沖縄の小児保健」第6号発行		
1979年 (昭和54年)	3 .			1月 国際児童年スタート

年	月 日	沖縄県小児保健協会のあゆみ	当県における小児保健	わが国における小児保健のうごき
		職能団体への講演会補助費制度設定 日看協助産婦部会県支部講演補助 日本小児科学会沖縄地方会講演補助 第7回総会、学会 於：労働福祉会館 一般演題 10題 特別講演 「こどものパーソナリティーの発達」 日本社会事業大学教授：石 哲 夫 国際児童年記念事業チャリティーへ協力（Tシャ ツ販売） 教育講演会開催（八重山地区） リーフレット購入（赤ちゃんの栄養他7種） 一般健康診査時において配布開始 日本小児保健協会支部長会議（仲地）及び評議員 会（知念）出席（東京） 第20回日本母性衛生学会（那覇市）へ補助 日看協助産婦部会県支部講演補助 第1回母子保健指導伝達研修会 共催 母子衛生助成会 後援 沖縄県 「沖縄県の母子保健の現状」 沖縄県環境保健部予防課長：小渡有明 「産褥期の家族計画」 沖縄県母性保健協会理事：砂川勝美 「最近の育児」 東京都立府中病院長：巻野悟朗	四代会長 仲地吉雄 理事 原 實，宮城英雅 佐久本政彦，稲福盛輝 安次嶺馨，仲里幸子 宮城シゲ，山本達人 知念正雄，平山清武 小渡有明，渡口真澄 竹中静広，池宮喜春 知念正夫，許田英子 前田洋子，古謝フミ子	WHOの勧告により周産 期関係の定義が全世界で 統一 4 月 新生児に対しクレ チン症マスキナーニング 検査 10月 WHO天然痘ゼロ を宣言 ※家庭保健基本問題検討 委員会設置 10月 国際児童年記念： 母子保健に関する国際シ ンポジウム（名古屋，厚 生省，小児科学会共催） テーマ 家庭と地域社会 における母子保健 11月 第26回日本小児保 健学会並びに総会 （東京，林路彰会頭） 国際児童年記念事業 ○国際母子保健シンポジ

年	月日	沖縄県小児保健協会のあゆみ	当県における小児保健	わが国における小児保健のうごき	
1980年 (昭和55年)		昭和54年度乳児一般健康診査の実績 実施市町村 50 受診数 21,666名 要精密検査数 640名		ウム ○全国母子保健指導者研修会 ○Tシャツチャリティデー	
	2	日看協保健婦部会支部講演会補助	○先天性甲状腺機能低下症検査実施	3月 鹿児島県5つ子誕生	
	3	日本小児科学会沖縄地方会講演補助 「沖縄の小児保健」第7号発行	(財)化学及血清療法研究所へ委託	4月 先天性代謝異常症に対する特殊ミルク共同安全開発事業	
	4	研究奨励金決定 15題 第8回総会・学会 於：パシフィックホテル 一般演題 10題 特別講演 「乳幼児健診の神経学的チェックポイント」 東京慈恵会医科大学小児科教授：前川喜平 会長 仲地吉雄氏逝去 日本小児保健協会評議員会(知念)出席(東京) 第27回日本小児保健学会出席(東京)	四代会長 仲地吉雄 理事 原 実, 安次嶺馨 池宮喜春, 稲福盛輝 大直見義夫, 小渡有明 許田英子, 古謝フミ子 佐久本政彦, 竹中静広 仲里幸子, 宮城シゲ 宮城英雅, 山本達人	10月 第27回日本小児保健学会並びに総会 (東京, 中山健太郎会頭)	
	9	理事 4名 関係団体代表(4団体)			
	10	◎第29回日本小児保健学会, 沖縄開催決定 会頭 知念正雄 昭和55年度乳児一般健康診査の実績 実施市町村 52 受診数 21,793名 要精密検査数 563名			11月 「80年代の母子保健を考える」第1回シンポジウム 12月 流行予測情報システムスタート

年	月日	沖縄県小児保健協会のあゆみ	当県における小児保健	わが国における小児保健のうごき
1981年 (昭和56年)	1.17	社団法人沖縄県小児保健協会設立総会 於：沖縄県立医療福祉センター	五代会長 知念正雄 理事 原 實, 安次嶺馨 池宮喜春, 稻福盛輝 大宜見義夫, 小渡有明 許田英子, 古謝フミ子 佐久本政彦, 仲里幸子 宮城シゲ, 宮城英雅 山本達人	「学校保健委員会」新設 「新生児委員会」 7月 感染症サーベラン ス事業始まる 7月 栃木県小児保健会 (発足) 7月 三重県小児保健協 会発足
	2.	日看協保健婦部会県支部講演補助		
	3.	日看協助産婦部会県支部講演補助		
	3.	第2回母子保健指導伝達研修会開催 共催 母子衛生助成会 後援 沖縄県 「沖縄県先天性代謝異常検査の実施状況」 沖縄県環境保健部予防課長：小 渡 有 明 「先天性代謝異常について」 大阪市立大学医学部小児科教授：一 色 玄 女 「沖縄の小児保健」第8号の発行 昭和55年度特別研究奨励金決定：14題 沖縄県知事より社団法人沖縄県小児保健協会設立 が認可される 昭和56年度総会並びに学会 於：沖縄県立医療福祉センター 一般演題 8題 特別講演 「被虐待児について」 神奈川県立こども医療センター小児科医長： 諏 訪 琢 三 研究奨励金決定 14題 日本小児保健協会支部長会議出席(知念)(徳島) 日本小児保健協会支部長(知念)評議員会議(大		
	3.31			9月 第28回日本小児保 健学会 (札幌市, 中尾享会頭)
	4.			
	5.			
	9.			



年	月 日	沖縄県小児保健協会のあゆみ	当県における小児保健	わが国における小児保健のうごき
1982年 (昭和57年)	9	<p>宜見) 出席 (札幌) 市)            第28回日本小児保健学会出席 (札幌市)            理事 11名 事務局 1名            関係団体代表 4名            第1回九州地区看護研究会 (那覇市) へ補助            事務局環境保健部予防課より            那覇市久茂地1-2-1へ移転 (旧県立公衛生研            究所)            昭和56年度乳児一般健康診査実績            実施市町村 53 受診数 22,767名            要精密検査数 499名</p>		
	1	<p>日看協看護婦部会県支部講演会補助            日看協助産婦部会県支部講演会補助            育児講演会            共催 琉球新報社            「これからの育児を考える」            東京大学教授：平山 宗 宏</p>		
	3	<p>日看協保健婦部会県支部講演会補助            小児神経懇話会講演会補助</p>		
	3	<p>昭和56年度臨時総会 於：海邦会館            第3回母子保健指導伝達研修会            「沖縄の社会と子どもたち」            沖縄県立那覇病院小児科医長：大宜見 義 夫            「母と子のきずな」</p>		

年	月 日	沖 縄 県 小 児 保 健 協 会 の あ ゆ み	当 県 に お け る 小 児 保 健	わ が 国 に お け る 小 児 保 健 の う ご き ま
	4 .	大阪府立母子保健総合医療センター副院長： 竹 内 徹 昭和57年度総会 於：自治会館 特別講演 「社会変動と小児保健」 日本小児保健協会副会長：林 彰 研究奨励金決定 15題 日本小児保健協会支部長会議出席（知念） ポスター・パネルの作成 保健所，市町村，医療機関，その他へ配布 日看協助産婦部会県支部講演会補助 第29回日本小児保健学会開催（那覇市）	五代会長 知念正雄 理事 原 實，安次嶺馨 池宮喜春，稲福盛輝 大宜見義夫，小渡有明 許田英子，古謝フミ子 佐久本政彦，仲里幸子 長嶺由治，町田宗孝 宮城シゲ，宮城英雅 山本達人	9 月 第29回日本小児保 健学会並びに総会 （那覇市，知念正雄会頭）
	10 . 2	会頭 知 念 正 雄 一般演題 274題 特別講演，教育講演，会頭講演 特別講演（2題） シンポジウム（2題） 参加人員 1,663名 会場 那覇市民会館大ホール他5会場 学習セッションの開催（那覇市民会館中ホール） 演題2題		
	11 .	日看協看護婦部会県支部講演会補助 昭和57年度乳児一般健康診査実績 実施市町村 51 受診数 24,603名 要精密検査数 545名		

年	月日	沖縄県小児保健協会のあゆみ	当県における小児保健	わが国における小児保健のうごき
1983年 (昭和58年)	1. 2. 3.	<p>第4回母子保健指導伝達研修会 「精神遅滞児のための保健婦と医師の役割」 琉球大学医学部助教授：池田琢哉 「医学からみたしつけと教育」 福岡教育大学保健センター所長：森 崇 共催 母子衛生助成会 後援 沖縄県 日看協保健婦部会県支部講演会補助 小児科医会講演会補助 「沖縄の小児保健」第10号の発行</p>		

※当県における小児保健は、沖縄県の母子保健昭和55年を参考にした。

※わが国における小児保健のうごきは、小児保健研究VOL.42 No.3 1983を参考とした。

(作成責任 仲里幸子)